

## SAM さん、夢を語る

第8号のめくろは、「夢」をテーマに制作しています。SAM さんにとって夢は？

もうめちゃくちゃ、たくさんあります。常に夢がないと頑張れないと思うね。みなさんはどうですか。ヘアメイクさんやダンサー、先生になりたいたとか、具体的な夢を早く見つけられることも大事だけど、焦る必要はないです。僕の場合は高校の時にもうダンスに出会ってダンサーになりたと思っていて、卒業してからはずっとダンサーの道を目指して来たからそうラッキーだったなって思う。無理やり作るものでもないんだけど、自分は実はこれが好きなんだって思うものが、たぶんみんなあると思う。こうして、インタビューをすることが好き、雑誌作りが面白い、それが夢になり、仕事になるという。

ダンスを通して、伝えたいことは？

ダンススタジオでは、実は、ダンス以外のことも結構教えています。ダンサーって、夢追い人や自己主張が強い人が多い。挨拶が出来なかったり、時間が守れなかったり、ゴミをゴミ箱に捨てられないなど、人として当たり前のこと、社会生活を送っていく上で基本的なことを、まずはしっかりと教えていますね。次にスタジオでは、「みんなで作っていくことの大切さ」「仲間を思いやる気持ち」「人の足を引っ張らない」「自分のことだけでなく周りやチームワークの大切さを教えています。LIVEを観に来るような方々は、ダンスを観て楽しんでほしい、元気になってもらいたい、そんなパワーを感じてほしいんです。それから、LIVEを観て観るを通してくれる方もいます。そういう感動を伝えたいです。

今日は、お忙しいところ、長時間にわたり、どうもありがとうございます。

## SAMさんと目黒区のつながり

目黒区でダンススタジオを開いたのはどうですか？

二十代のある数年間、目黒区民センターのトレーニングで毎日練習をしていました。1時間100円で利用できたんですよ。目黒区には住んでいなかったのですが、毎日ジムに通っていました。ジムの職員の方とも仲良くなりましたね。そういう原点の場所、愛着もあり特別な場所です。何か機会があれば、戻りたいなと思っていました。

目黒区で好きな場所がありますか？

家が埼玉にあったので、小さいころに目黒へ来ることはなかったのですが、目黒黒猫園はすごいんですよ。スタジオから近いのですが、猫があったり、エンターテインメントというか、カルチャーショックを受けました。外国の方が見たら感動するね。

# SAMさんロングインタビュー!!

## SAMさんダンスを語る

LIVEの選曲はどのように決められるのですか？

アルバムを出したときは、アルバム中心の選曲なのですが、新しいアルバムを知らない人はつまらなくなってしまうので、みんなが知っている曲をたくさん入れていこうとか、バランスを考え、選曲を構成します。

LIVEに向けてリハーサルやトレーニングはどのようにするのですか？

だいたい三ヶ月前からLIVEのプログラムや構成を考え、一ヶ月前からスタジオでリハーサルを始めます。大規模なLIVEも同じように一ヶ月前からリハーサルを始めますね。

体調管理は、どのようにされていますか？

体調管理は、あまり食事とか、気にせず食べているし、筋トレも頻立って伏せや腹筋ぐらいです。

痩せたりしませんか？

痩せるのが怖くて結構食べますね。動いていると食欲が落ちないんです。だから筋力が落ちないようしっかりと食べることを意識します。体は年齢に敵いませんね。どんな落ちています。LIVEのように長時間踊り続けることは、出来なくなっています。1分、2分と踊り続ける息が弱くなるので、ダンススタイルを変化させています。昔は、アクロバティックなことをたくさん取り入れて踊っていましたが、今はステップを中心に踊り、動き方や見せ方を研究して、ダンスのクオリティを保っています。

ダンサーをしてよかったなと思うことは？

自分の情熱の全てを注げるダンスが仕事であること。世の中には、思うような仕事がない人はいくらたくさんいるから、自分はラッキーだと思う。いろいろな縁やチャンスをしっかりと掴み、自分に「運」を引き寄せることも大切な。

尊敬しているダンサーは？

強いと言えば、TRFのチノバとエツかな。ダンサーとして、すごくストイックで一緒に仕事をしていていつも刺激をもらえるかな。

一番得意なダンスの分野は？

ハウスダンス、ビップも得意です。(注:6ページ参照)

ダンサーになる前は何をしていたのでしょうか？

普通に学生をしていました。(笑)高校生の時には踊っていたし、プロのチームにスカウトされました。卒業後も、そのチームに在籍し、踊り続けていますから、ダンス一筋だね。

ダンスを始められて何年経つのですか？

踊り好きになった15歳のころから、今まで何年だろう…38年かな？

ダンサーになった理由は何でしょうか？

かっこよく踊っている人を見て、自分もそうなりたと思って。

TRFに所属されていますが、どうして入ったのですか？

25年くらい前にテレビのダンス番組の審査員をしたから、MEGAMIXというダンスチームで踊っていました。ちょうどTRFのプロデューサー・小室哲哉さんが、ボーカルの後ろにダンサーがいて、その後ろにDJがいるような新しいミュージックグループを作ろうと思っていたところ、その番組を見て出演していた僕にオファーがありました。すぐに小室さんにお会いし、いろいろ話をしてくうちに共感しTRFに入っていた感じでした。

TRFの活動で思い出に残っていることは？

世界中のいろいろなところへLIVEやミュージックビデオで行ったことかな。アメリカは、NY、ロスやハワイ、各地に行ったね。それから、メキシコ、オーストラリアへ、アジアは、中国、香港、韓国、台湾、シンガポールなども、中東のドバイにも行ったよ。

TRFの楽曲で難しい振り付けはありますか？

難しいというよりも、久しぶりに踊る曲は、しっかりリハーサルをします。若いころに振付けたダンスは、結構体力を使っているので大変かな。

いつも踊る楽曲はありますか？

いつもLIVEで踊る曲、もちろんヒット曲は、いつも踊れますよ。

振り付けは、SAMさんが考えられるのですか？

基本的には、僕とチノバとエツで考えます。以前、「BRAVE STORY」というアフリカっぽい楽曲は、知合いのダンサーに振り付けをお願いしたことがありました。